

山元議委発第72号
平成30年9月18日

山元町議会議長 阿 部 均 殿

産建教育常任委員会
委員長 高 橋 建 夫

所管事務調査報告書

本委員会は、所管事務調査を下記のとおり終了したので報告します。

記

1. 調査事項

- | | | | |
|--------------------|-------|---|------|
| (1) 学校再編について | 7月10日 | ・ | 8月6日 |
| (2) 中央公民館施設の今後について | 7月10日 | ・ | 8月6日 |
| (3) 企業誘致の現状について | 6月27日 | ・ | 8月6日 |
| (4) 駅前駐車場の管理運営について | 6月27日 | ・ | 8月6日 |

2. 調査結果

(1) 学校再編について

震災後、小中学校の再編が検討されたが、予想以上の人口減少による少子化により、更なる検討がなされる中、再編のあり方、方向性について調査した。

考察

小中学校再編検討委員会において、2つの中学校を「早期に1学校区に再編」、4つの小学校を「将来的に1学校区として再編するべきと考える。」との方向性が示された。

学校再編については、住民との十分な協議のもと、「学力向上」や「地域と学校のかかわり」など、幅広い視点から検討すべきである。

(2) 中央公民館施設の今後について

今後の運営の方向性について、山下地域交流センター（ひだまりホール）との関係性を含め調査した。

考察

時期は未定だが、「将来的には一本化になるのではないかと考えている。」とのことだが、社会教育施設と公共施設の使用目的（利用目的）が異なるため、住民の不利益にならないよう、利用しやすい運営を心掛けるべきである。

(3) 企業誘致の現状について

太平洋ブリーディング株式会社について調査した。

プリマハムの子会社で、新浜別荘跡地に肥育養豚場を建設予定である。飼育頭数は18,000頭、年間5万頭出荷計画である。臭気対応などのため、環境対応型の密閉型豚舎を採用する計画である。2020年度からの稼動・出荷を目標としている。臭気問題に関しては地区住民に説明会を実施。今後、同型の養豚場の視察計画もある。

考察

新規の地元採用計画もあり、町にとっては有望視される企業である。土地の取得等、事業の進捗等に関し積極的にバックアップしていくべきである。

臭気・汚水・排水・騒音（鳴き声）などの環境問題等が予測される。今後、これらについて十分注視していくべきである。

(4) 駅前駐車場の管理運営について

山下駅前駐車場は不公平性の払拭、利便性の向上、そして更なる利用者の増加を図るため、月極契約を取り入れる見直し作業がなされているのか、作業の進捗状況について調査した。

考察

昨年から何度となく、山下駅前駐車場の早急な月極料金を設定すべきと指摘してきたが、見直し作業が進んでいない。

料金の見直し時期については、9月議会での対応を求めていたが、進展が見られず、住民サービスの観点からも12月議会提案に向け取り組むべきである。